

### 令和5年度全国学力・学習状況調査及びすくすくウォッチの結果について

錦秋の候、保護者のみなさまには、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、本校教育のためにご支援ご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、4月18日(火)に実施しました、令和5年度全国学力・学習状況調査及び4月21日(金)に実施しました、すくすくウォッチの結果について分析(成果と課題)及び取り組みをご報告させていただきます。

#### 《基本的な考え方》

全国学力・学習状況調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況の把握・分析を行い、教育施策の成果と課題の検証及びその改善を図ること、また学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを通じて教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することを目的にしています。

またすくすくウォッチは、子どもたちに各教科の学力に加え、ことばの力や文章、情報を読み取り考える力、様々な情報を活用する力、そして「見えない学力」と言われるねばり強さや好奇心などを育む、大阪府としての取り組みです。

これらをふまえて、本校では、次に挙げるような成果が期待されると考えております。

- 子どもたちは、それぞれの学習の到達状況を知ること、学習意欲を高め、自ら目標を持って今後の学習の改善や励みになる。
- 学校は、自校の状況をより詳細に分析することで、子どもたちの確かな学力及び教員の指導力・授業力の向上につながる。

#### 《調査結果の取扱い》

- ◇本調査により測定できるのは、学力の限られた一部分であり、学校における教育活動の一つの側面です。すべての学力を捉えられているものではないことに十分留意して取り扱うことが必要です。
- ◇学校は、「子どもにどのような力がついてきたのか」「学校がどのような教育を進めているのか」「子どもの学習状況や生活習慣等にどのような良い点・課題があるのか」など、一人ひとりの学力向上の取り組みの改善とともに、学校における課題を整理して、課題改善する取り組みを進めていきます。

#### 《お願い》

- 学習への意欲は、子どもの自尊感情と大きな関係があります。友だちやきょうだいと比較することは、意欲を低下させる場合があります。今回の結果からお子さまの伸びや課題を知り、まずはお子さまの良いところを褒めてください。その上で、課題について頑張って克服できるよう励ましてあげてください。そのことがお子さまの学習意欲を高めることにつながります。
- 学力の向上は学校が主にその役割を担いますが、各家庭におかれましても、今回の結果を子どもたちの基本的な生活習慣の見直しや今後の家庭学習の進め方等の参考にさせていただきますようよろしくお願いいたします。
- 調査結果のうち、正答率については、調査に参加した子ども並びに保護者の方にのみ提供しているものです。学校間の序列化や過度な競争につながらないよう、その取扱いについては、十分にご留意いただきますようお願いいたします。

### 学力・学習状況調査について

#### ○国語

##### 概要

本校の平均正答率は、全国平均より0.2%下回っていたが、全体の正答率は67%で、おおむねできていた。

##### 特に成果が見られた問題例

- ①(四)文章の種類とその特徴の説明として適切なものを選択する問題。正答率は全国平均を12.7%上回った。文章の種類をよく理解できている。

##### 特に課題が見られた問題例

- ①(一)原因と結果など、情報と情報との関係として適切なものを選択する問題。一つひとつの語彙を正しく理解できていない。文章の内容を端的に熟語で表すことが難しい。
- ②(四)資料を読み、自分の考えをまとめて書く記述式の問題。無回答が多い。字数制限の中で伝えたいことを工夫してまとめる取り組みが必要である。

#### ○算数

##### 概要

本校の平均正答率は、全国平均より1.5%上回っていた。問題形式別に見ると、思考・判断・表現を問われる問題や選択式の問題で、全国より5%以上高くなっている。

##### 特に成果が見られた問題例

- ②(1)台形の意味や性質を理解して選択する問題。台形の定義や特徴が理解できている。
- ③(1)( )を用いた式や、加法と乗法の混合した式が何を表しているかを選択する問題。式の意味が捉えられている。問題文に印をつけて読み取る練習をしてきた成果が表れている。

##### 特に課題が見られた問題例

- ③(3)加法と乗法の混合した整数の計算や、分配法則を用いて答えを求める問題。計算のきまりが定着しておらず、( )の式になおすのに課題がある。
- ④(4)二次元の表から、条件に合う数の組み合わせを選択する問題。表の中の数が何を意味しているのかが読み取れていない。

**概要**

本校の正答率は、府の平均より3.6%上回っていた。その中でも、「エネルギー」を柱とする領域では、特に正答率が高く、7.3%上回っていた。

**特に成果が見られた問題例**

1(4)ソーラークッカーの原理から、より早くあたためる工夫を考えて書く記述式の問題。3年生の時に鏡を使って温度の変化を調べる実験をしているので、直感的に温めるという答えにつなげやすい。

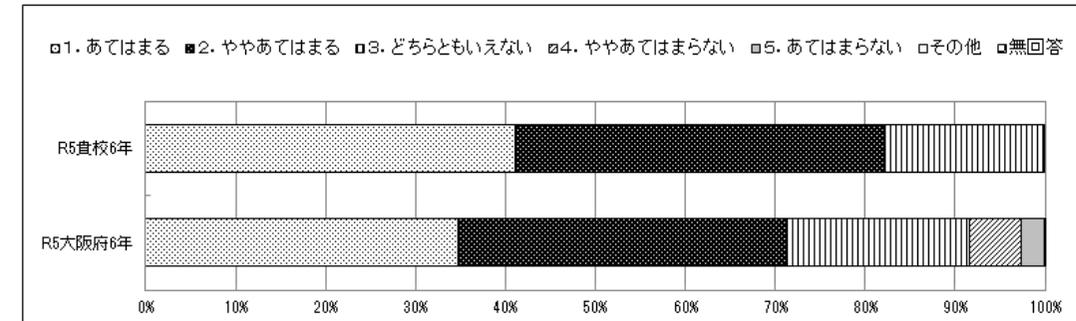
**特に課題が見られた問題例**

- 1(1)直列つなぎと並列つなぎにしたときの豆電球の明るさの違いの問題。直列つなぎ・並列つなぎの知識が定着していない。教科書で学習した内容を応用できていない。
- 2(1)方位磁針の正しい使い方を選択する問題。針が指している西と矢印の方向の北の誤答が多い。方位磁針の使い方に対する理解が不十分。

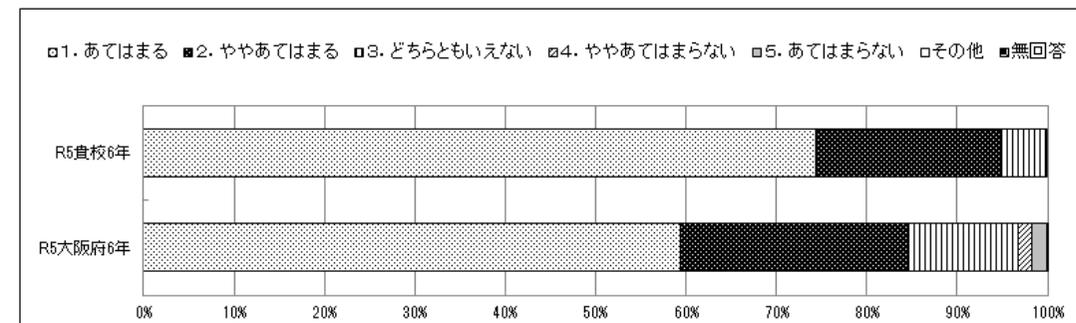
○児童アンケート(学力・学習状況調査・すくすくウォッチ)

◎特に成果が見られたアンケート項目例

質問番号	質問事項													無回答
5	何事にも一生けんめい努力する													
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答
R5全校6年	41.0	41.0	17.9	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.0
R5大阪府6年	34.7	36.7	20.3	5.6	2.6	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.1

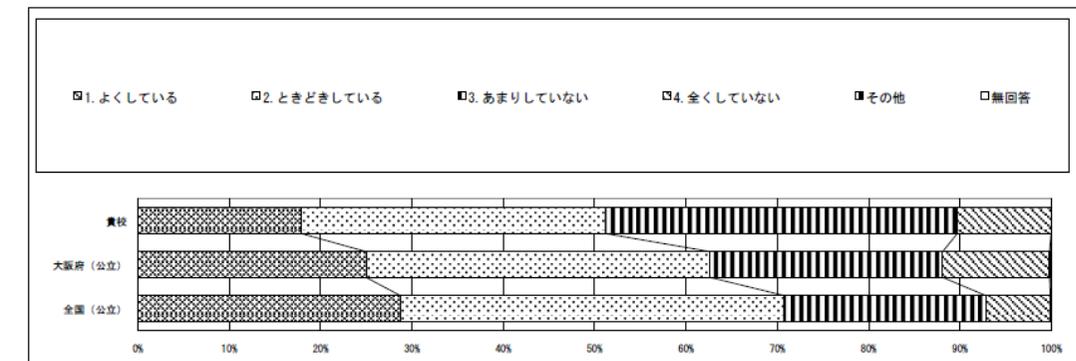


質問番号	質問事項													無回答
31	あなたの学級は、友だちのよいところを互いに認め合える													5
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答
R5全校6年	74.4	20.5	5.1	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.0
R5大阪府6年	59.4	25.0	12.4	1.4	1.6	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.1



▲特に課題が見られたアンケート項目例

質問番号	質問事項										無回答
(16)	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	17.9	33.3	38.5	10.3						0.0	0.0
大阪府(公立)	25.0	37.7	25.5	11.7						0.1	0.1
全国(公立)	28.7	42.0	22.1	7.1						0.1	0.0



○すくすくウォッチ(教科横断的な問題わくわく問題)について

**概要**

本校の正答率は、府の平均より5%上回っていた。資料の内容を関連付けて正しくとらえる観点で正答率が高くなっている。一方で、興味・関心のある事がらについて、意欲的に工夫して相手に伝える観点で正答率が低くなっている。

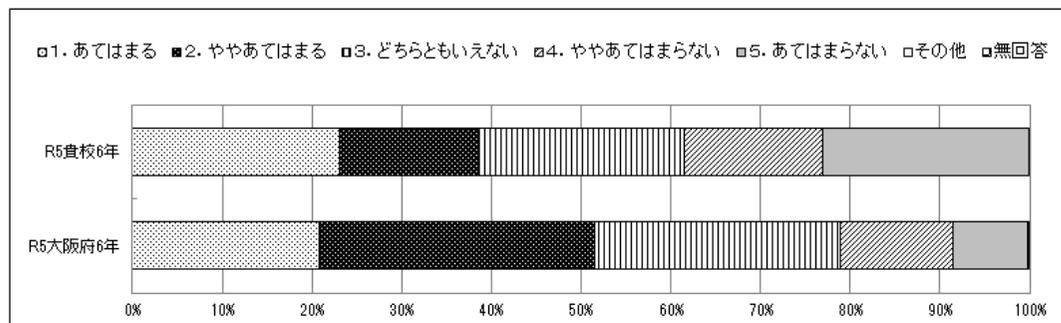
**特に成果が見られた問題例**

1(2)資料から読み取ったことを整理して答える記述問題。全国平均より15.7%高い。身近な題材で取り組みやすかった。表の読み取りがよくできていた。

**特に課題が見られた問題例**

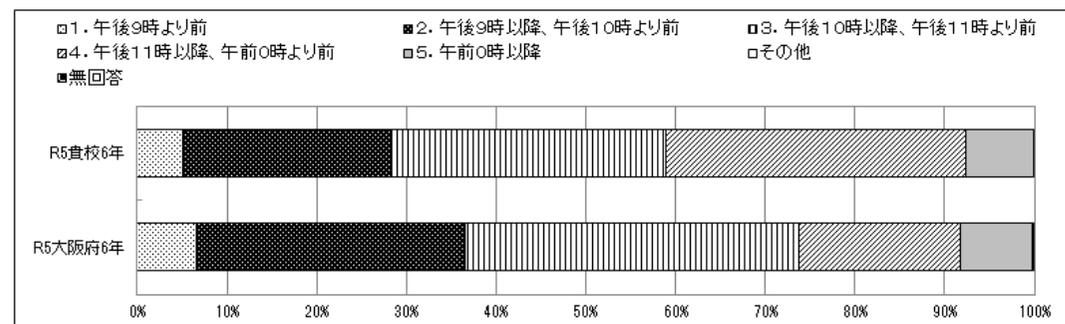
2(3)社会の中の問題を解決するために何ができるのかを考え、理由や根拠を明確にして伝える記述問題。条件を満たせていない解答が多い。新しい発想、アイデアを出すことに困難が見られた。

質問番号	質問事項													無回答
25	予期しない出来事が起きたとき、原因がわかるまで調べる													
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答
R5豊校6年	23.1	15.4	23.1	15.4	23.1	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.0
R5大阪府6年	20.8	30.7	27.4	12.5	8.4	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.2



参考資料

質問番号	質問事項													無回答
70	ふだん(月曜日から金曜日)どれくらいの時刻に寝ていますか													
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答
R5豊校6年	5.1	23.1	30.8	33.3	7.7	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.0
R5大阪府6年	6.6	30.0	37.2	18.0	8.0	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.2



児童アンケートについて

すすく(5)では、積極的に取り組む姿勢が育まれているのが分かる。様々な学年の活動や縦割り行事を自分たちで考え、実施してきたことが活きていると考える。また、すすく(31)では、低学年の時から認め合うことの大切さを積み上げてきた成果が見られる。素直で、思いやりのある児童が多いことが結果にも表れている。

一方、学力テスト(16)では、自主的に学習していく姿勢が弱いことが分かる。苦手な単元を克服したり、得意な単元をさらに伸ばしたりできるように意識して学習する習慣を身に付けさせたい。すすく(25)では、粘り強く取り組む姿勢において府と比べて肯定的な回答の割合が低い。自分で考えたり調べたりしながら課題解決に向かい、最後まで考え抜く経験を積ませたい。

また、家庭生活に関わる部分では、府と比べて生活習慣の差が挙げられる。その中でも、(70)では、就寝時刻が23時以降の児童が4割を超えていることが分かった。ゲームや動画の時間を早めに切り上げ、生活リズムを整えていくことが望ましい。

学校が重点的に取り組んでいくこと

以上のような分析をふまえ、以下のような取組みを進めていきます。

○学ぶ意欲をはぐくむ授業づくり

- ・友だちと意見を交流して考えを深める授業。
- ・条件に沿ってまとめて記述する練習。(要約、作文、ふりかえりなど)
- ・問題文を読み取る工夫。(文や図表などの大事なところに印)
- ・算数科においては、見通し、検算を大事にしていく。
- ・読書活動の充実を図り、語彙力を高める。

○自己肯定感と自己有用感を高める取組み

- ①「自らを意欲的に学ぶ力の育成」
  - ・タブレットを活用した授業の研究。
  - ・自主学習の推奨と子どもの評価活動による意欲喚起。
- ②リーダーシップの育成
  - ・わくわくまつり等、児童が主体的に企画・運営できる行事の設定。
  - ・異学年集団を活用してのリーダーシップの育成。
- ③他者への貢献力の育成
  - ・高学年の児童による下級生への貢献の機会の設定。
  - ・地域の方の協力への感謝と交流の機会の設定。

児童のみなさんにしっかり取り組んでほしいこと

○工夫しながら問題に取り組もう。

問題を読むときには、大切なことを落とさないように印をつけながら読むようにしましょう。答えがどれくらいになるか見通しを持ちましょう。また、ケアレスミスが多いので、見直しをして確かめましょう。

○計画を立てて学習しよう。

日々の授業や家庭学習などに自分から取り組むことで力や自信がついてきます。学習計画を立てて、毎日こつこつと学習する習慣を身につけていきましょう。

○人とコミュニケーションをとろう。

自分の思っていることは言葉で表し、人の意見や話は最後までしっかり聞きましょう。

保護者のみなさまに協力してほしいこと

○基本的な生活習慣

子どもたちが、朝ごはんや睡眠時間、学習時間など家庭での基本的な生活習慣を守れるよう引き続きご協力をお願いします。

○たくさん褒めて認めてあげてください。

家で褒めてもらっている子どもたちが多くいました。引き続き学習面の結果だけでなく、学習の過程や生活の中でもたくさん褒めてあげてください。

○一緒に過ごす時間を大事にしてください。

家の人と一緒に遊んだり、勉強したり、家の仕事をしたりしている子も多くいました。家が安心できる場所であることで、子どもたちは学校や社会で様々なことに思いっきり挑戦していくことができます。日頃からのサポートありがとうございます。これからもご協力をよろしくお願いいたします。